

理学療法ジャーナル

バックナンバーと特集テーマのご案内

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は
 弊社販売・PR部 (☎ 03-3817-5660 FAX 03-3815-7804) までお申し込みください。
 それ以前の号については東亜ブック (〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11 ☎03-5947-4781
 FAX 03-3923-4539 E-mail:st@toabook.com URL:http://www.toabook.com/) にお問い合わせください。



Vol.56 No.5 (2022年5月号)

特集

動作分析と臨床の マッチング

動作分析は理学療法の核をなす部分と言われるが、一方でいまだにスタンダードを見出せていないとも言える。今見ている動作は疾患の結果なのか、あるいは原因なのか、またそれは判別できるのか、周辺知識はどこまで必要なのか、といった基本から臨床応用までの特集である。理学療法士の視覚的評価と動作分析機器との融合や、歩行を含めた動作全般の成り立ちと疾患との関連性について取り上げた。各執筆には、動画を参考資料としてご提供いただいた。理解を深める一助としたい。



Vol.56 (2022年)

- No. 4 臨床に活かすニューロリハビリテーション
- No. 3 筋—理学療法士の視点から捉える
- No. 2 進歩する低侵襲手術に応じた理学療法
—治療プログラム、目標設定、リスク管理
- No. 1 機能解剖と理学療法

Vol.55 (2021年)

- No. 12 大腿骨近位部骨折 up to date
- No. 11 パーキンソン病の最新知見と効果的な理学療法
- No. 10 タッチ—触れることと触れられること
- No. 9 チーム医療におけるコラボレーション
- No. 8 がん治療のリアル
- No. 7 移動—理学療法からみた学際的探求
- No. 6 Inner & Intrinsic Muscles一筋による関節の安定化、姿勢調整機能を探る*
- No. 5 目標に基づく理学療法のための臨床推論
—症状・疾患別の実践
- No. 4 皮神経滑走と運動療法の新知見*
- No. 3 重症化予防
- No. 2 関節可動域評価のABC
—治療計画につなぐ応用的解釈まで
- No. 1 高齢者の膝関節の痛み

Vol.54 (2020年)

- No. 12 歩行 PART 2 運動器疾患と歩行指導
- No. 11 歩行 PART 1 脳神経疾患と歩行
- No. 10 疼痛に対する最新の理学療法—治療効果を最大化するための理論と実践
- No. 9 軟部組織に着目した理学療法の最前線*
- No. 8 パフォーマンス向上のための筋力トレーニング
- No. 7 脊椎・脊髄疾患の多彩な症状と理学療法
- No. 6 Pusher 現象の謎「傾き」への挑戦
—臨床像と治療アプローチ

*在庫僅少

特集

人工関節置換術後の理学療法

人工関節置換術後の歩行分析と理学療法—人工股関節	対馬栄輝
人工関節置換術後の歩行分析と理学療法—人工膝関節	井野拓実, 他
人工関節置換術後疼痛—人工股関節	山崎 肇
人工関節置換術後疼痛—人工膝関節	岡 智大
人工関節置換術後の軟部組織への考慮—人工股関節	小林弘幸
人工関節置換術後の軟部組織への考慮—人工膝関節	池野祐太郎
人工関節置換術後の患者満足度—人工股関節	神戸晃男
人工関節置換術後の患者満足度—人工膝関節	池田 崇, 他

Close-up

脳卒中の装具療法

長下肢装具と運動療法	辻本直秀
回復期の装具療法	田代耕一
上肢装具の適応	竹林 崇

連載

画像評価—何を読み取る? どう活かす?⑦

	有蘭信一, 他
--	---------

理学療法のスタート—こうやってみよう こう考えていこう⑦

- ・プログラムへどう活かすか? 生活歴・社会背景情報
- ・老いていることと病んでいることを理解しよう

長谷川真人

臨床実習サブノート 退院後から振り返るゴール設定—推論を事実と照合して学ぶ②

職場復帰 歩行自立	河崎由美子, 他
-----------	----------

*都合により内容が変更となる場合もありますのでご了承ください。

年間購読のご案内

- 1冊ずつ購入するよりお得! 学割もご用意しております。
- 発行後すぐに送料無料でお届けします!
- 「電子版」なら、1年分の購読料で創刊号からのバックナンバーが読み放題!

お申し込みは医学書院ウェブサイトまたは弊社販売部まで

TEL 03-3817-5659/FAX 03-3815-7804

<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>

2022年 年間購読料

(12冊, 税込, 送料弊社負担)

冊子版	21,912円
冊子+電子版/個人	25,212円
電子版/個人	21,912円
冊子版/学生割引	17,556円
冊子+電子版/学生割引	20,856円
電子版/学生割引	17,556円